

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	成人聴覚障害(成人視覚聴覚二重障害含む)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 木曜3, 4限	教室名	4校舎301教室
担 当 教 員	高橋 浩平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
聴覚の生理・病理をはじめとする基礎知識を学習し、さらに聴覚の評価・訓練の知識を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚障害学「聴覚障害学第2版」監修 藤田郁代 医学書院						
《授業外における学習方法》						
関連する事項について調べる。						
《履修に当たっての留意点》						
講義は1週間以内に復習すること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚機能検査について理解する	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	選別聴力検査			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の聴覚リハビリテーションについて理解する(1)	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	聴覚機能にかかわる支援・指導について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の聴覚リハビリテーションについて理解する(2)	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	聴覚機能にかかわる訓練について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢性聴覚障害について理解する	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	障害部位別の特徴、リハビリテーションについて学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能性聴覚障害について理解する	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	心因性難聴、詐聴について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚聴覚二重障害について理解する(1)	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	視覚聴覚二重障害の定義、評価方法について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚聴覚二重障害について理解する(2)	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	視覚聴覚二重障害の方とのコミュニケーションについて学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害と社会資源について理解する	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	バリアフリー、身体障害者手帳(聴覚障害)の等級について学ぶ		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			